

平中学校教育懇話会とその活動

平中学校教育懇話会は、昭和61年4月の平中学校開校に際して開校記念事業実行委員会が設立され、翌年の3月に解散されました。その事業に参加された方々から、学校を地域から盛り上げていく組織として、教育懇話会の設立の声が上がり同年7月に初代会長の植木周蔵氏を中心に「平中学校の教育の発展、地域の教育の向上」を目指して平中学教育懇話会が産声をあげました。

校門を入れて左手にある自然観察林、三恩の庭など校内の環境整備や山頂部分を開墾した農園で野菜の種まきから収穫までを生徒に実践指導し食育教育の推進を行っています。特にジャガイモは卒業間近の生徒が種芋を植え、芽かき土寄せをし、在校生が収穫するという“農作業を通じて繋がる生徒の絆”プロジェクトとして今も引き継がれています。

ふれあいフェスティバルでは会員の皆様からの提供品、新鮮な農作物と共に農園で収穫した大根やジャガイモ等を生徒と一緒に販売し、収益は教育資金として寄付を行っています。

会員相互の親睦を深めるため、向丘中・菅生中の教育懇話会との三校の親睦会をはじめ、農作業や整備作業の後の反省会そして、PTA役員との交流を深め又日帰りバスツアーを行ったりもしています。

コロナ禍で残念ながらふれあいフェスティバルや親睦会など事業の中止や延期をせざるを得ない状況が続いておりますが、コロナ前の様に、皆が一同に集えて、平中学校の生徒たちの笑顔や声に元気を貰いながら、学校や地域の皆さんとの関わりを大切にし、より良い教育環境を築いていきたいと思っています。

平中学校教育懇話会の皆様におかれましては、今後ともご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

令和4年5月23日

平中学校教育懇話会

会長 村田栄一